

- 常呂川では、日本の食を支える「生産空間」を活力ある地域として守っていくため、国、道、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する
 - 【短期】北見市街地等での重大災害の発生を未然に防ぎ、かつ、内水被害軽減のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施するとともに、浸水リスクの高い公共施設の移転を進め、水害リスクに強いまちづくりを実施する。
 - 【中期】北見市街地の浸水被害を防ぐため事前防災を進め、河道掘削を推進し、さらに中小河川の浸水リスク情報の提供を進める。
 - 【中長期】狭窄部の上流域の浸水被害軽減対策を実施し、流域全体の安全度向上を図りつつ、被害軽減・早期復旧・復興のための対策を継続する。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(河道掘削、堤防整備等)	網走開発建設部		常呂地区の河道掘削完了	端野地区の河道掘削及び被害軽減対策完了	
	洪水氾濫対策(河道掘削、堤防整備、遊水地整備等)(中流域)	オホーツク総合振興局				
	北見市街地を守る河床低下対策	網走開発建設部、オホーツク総合振興局				
	生産空間を守る農業排水路等整備	網走開発建設部、オホーツク総合振興局				
	土砂流出抑制・浸透機能向上整備(森林対策、農地整備)	オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町、網走中部森林管理署 等		常呂川下流地区完了		
	山地災害から流域を守る治山対策および砂防施設の整備	オホーツク総合振興局、網走中部森林管理署			植栽・間伐等の森林整備	
	利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施・体制の構築	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町 等			治山施設等の整備	
	下水道雨水管等の整備	北見市		富里ダム管理設備等の整備完了(北見二期地区)		
	背後地の人命・財産を守る海岸保全施設整備	オホーツク総合振興局				
被害対象を減少させるための対策	嵩上げ盛土による浸水対策を講じた複合型公共施設を整備	網走開発建設部、北見市		公共施設の移転整備完了		
	水害リスクに備えた災害対応施設(消防庁舎)の移転	訓子府町				
	多段的な浸水リスク情報を充実させたまちづくりの取組	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町	多段階な浸水リスクの提供(網走開発建設部)	情報の有効活用(流域全自治体)	まちづくり検討(流域全自治体)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・監視カメラの設置および水害リスク空白域の解消に向けた取組	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町				
	プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町				
	講習会等によるハザードマップの周知および多機関連携型タイムライン策定	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町、網走地方気象台		ハザードマップの空白地帯の対応(国・道)		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進と避難の実効性の確保	北見市、訓子府町、置戸町		要配慮者利用施設の避難確保計画策定完了(流域全自治体)		
	高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表	オホーツク総合振興局				
	氾濫水を早期に排出するための排水計画と訓練	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町、網走地方気象台				
	防災気象情報の利活用促進 等	網走地方気象台				
	治水対策における多自然川づくり・生物の多様な生息・生育環境となっている河畔林、水際の保全・魚類等の移動の連続性確保・産卵の場の保全・河川景観の保全	網走開発建設部、オホーツク総合振興局				
グリーンインフラの取組	河川環境啓発のソフト施策の取り組み・小中学校や一般住民などへの環境学習	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町				
	流域住民への森林育成に関する理解促進					

気候変動を踏まえ
更なる対策を推進

【事業費】

■事業規模

河川対策(約398億円)
河道掘削、堤防整備、河床低下対策 等
砂防対策(約5億円)
対策内容
流木止め整備 等
下水道対策(約31億円)
対策内容
下水道雨水管等の整備 等
海岸対策(約26億円)

※1：国・北海道の河川整備計画の残事業を記載
※2：北海道における砂防事業の残事業費を記載
※3：各市町における下水道事業計画の残事業費(雨水関連)を記載
※4：北海道における海岸事業の残事業費を記載

○常呂川流域は森林資源等に恵まれ、天然記念物であるオジロワシ・オオワシ等の猛禽類といった貴重な野生生物の生息場となっており、上流域でサケ科魚類の産卵床が確認されるなど、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が数多く存在している。

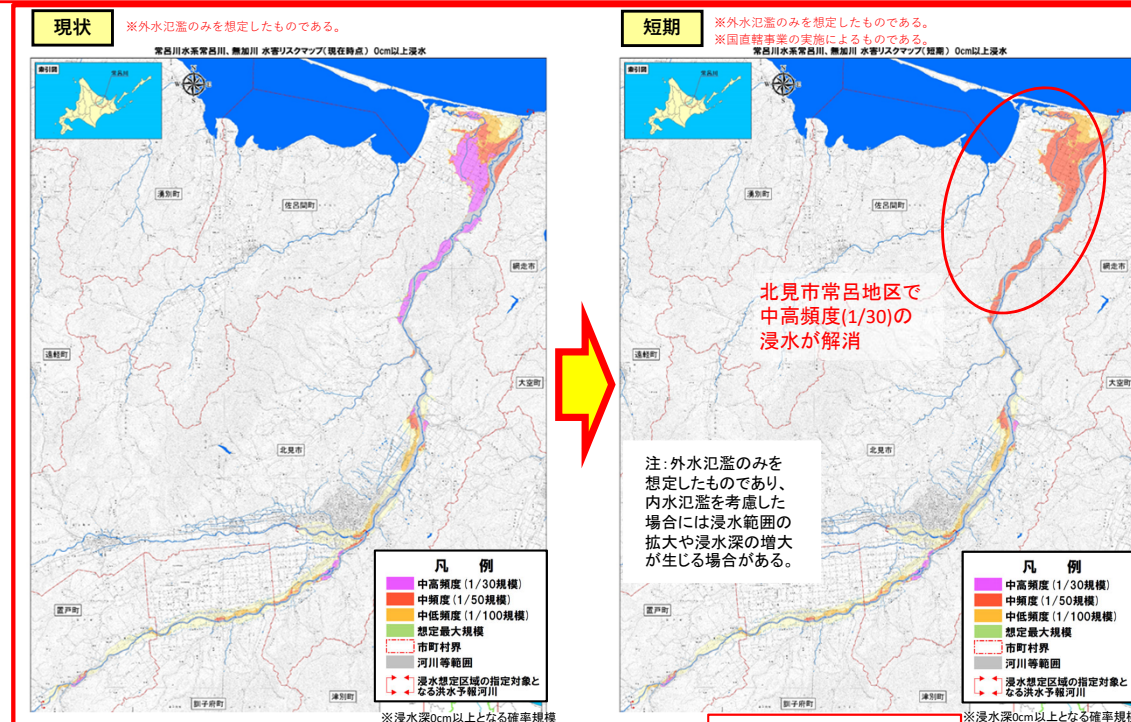
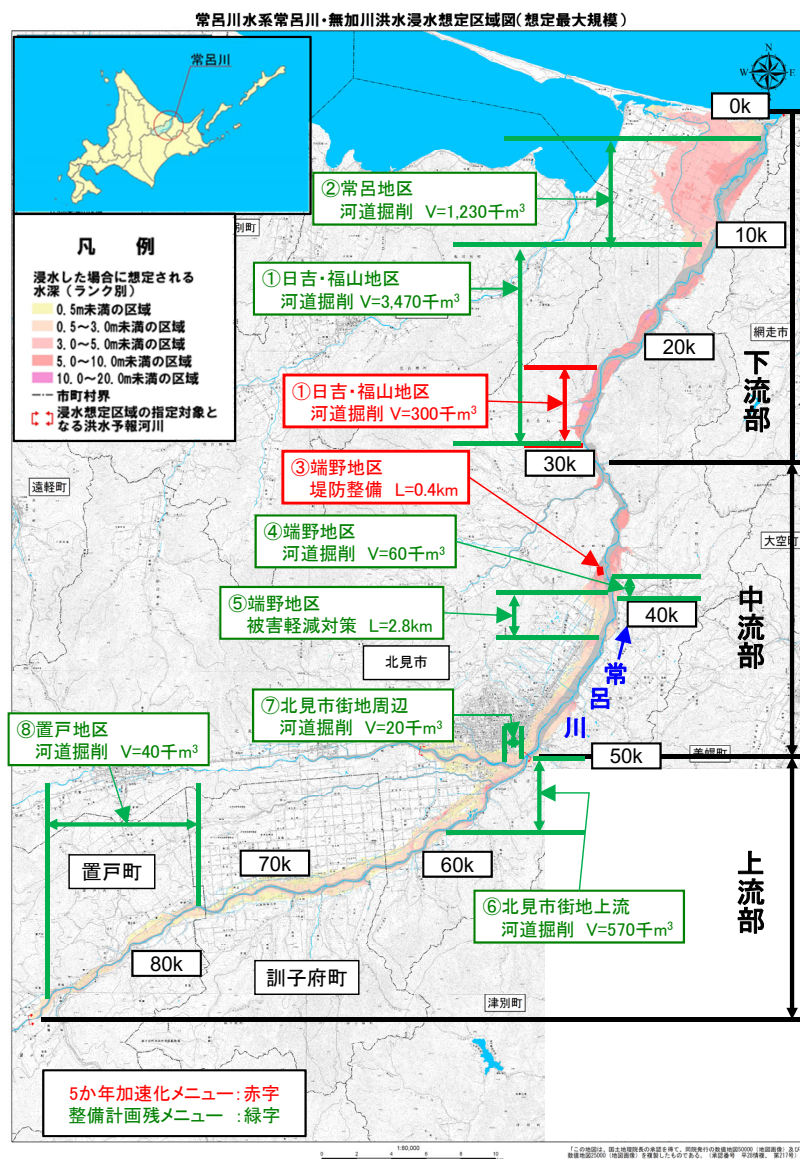
○常呂川水系において、生物の多様な生息・生育環境の保全に向けて今後概ね30年間で河道整備を行う等、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

○日吉・福山地区の河道掘削がR7完了にともない、H18.8洪水規模の洪水を河口～日吉・福山地区の区間でHWL以下で流下させることが可能。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約92%→約99%

※記載整備率は整備計画改定(R3.12)前の整備計画河道に対する整備率である。

実施箇所・対策内容



整備箇所・内容			【5か年加速化対策】 短期(R2～R7) 1/15→1/38	中期(R8～R22) 1/●→1/●	長期(R23～R32) 1/●→1/●
①	日吉・福山地区	河道掘削	100%		100%
②	常呂地区	河道掘削		100%	
③	端野地区	堤防整備	100%		
④	端野地区	河道掘削			100%
⑤	端野地区	被害軽減対策			100%
⑥	北見市街地上流	河道掘削		100%	
⑦	北見市街地周辺	河道掘削		100%	
⑧	置戸地区	河道掘削			100%

【短期整備完了時の進捗】

①日吉・福山地区 河道掘削 100%
③端野地区 堤防整備 100%

R3

短期完了で河口～日吉地区において、整備計画改定(R3.12)前の計画河道に対応した掘削が完了

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※治水安全度は、各期間・整備箇所での安全度を記載している。

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率

集計中

農地・農業用施設の活用



集計中

流出抑制対策の実施



集計中

山地の保水機能向上・
土砂・流木対策

治山対策・森林整備

集計中

砂防関連施設の整備箇所数

集計中

立地適正化計画における
防災指針の作成

集計中

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定

集計中

内水浸水想定

集計中

高齢者等避難の
実効性の確保

避難確保計画

集計中

個別避難計画

集計中

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

～洪水氾濫対策(河道掘削、堤防整備、遊水地整備 等)
(中流域)～河道掘削実施状況
無加川(道管理区間)天端保護実施状況
無加川(道管理区間)

【実施中の取組内容】

- ・無加川(留辺蘂地区)における天端保護
- ・無加川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、
ポンケットナイ川、訓子府川における河道掘削
(オホーツク総合振興局) 等

～下水雨水管等の整備～



下水道雨水管の整備状況



下水道雨水管の整備状況

【実施中の取組内容】

- ・雨水増強管整備工事、雨水管整備工事、雨水管増径改築工事の実施(北見市) 等

被害対象を減少させるための対策

～嵩上げ盛土による浸水対策を講じた
複合型公共施設を整備～

浸水対策を講じた複合型公共施設の盛土造成状況

【実施中の取組内容】

- ・過去の浸水被害の状況をもとに、浸水被害リスクの少ない箇所へ複合型公共施設の設置を計画
- ・常呂川河道掘削土を有効活用し基盤盛土が完了
- ・今後、浸水対策を講じた複合型公共施設整備の実施(北見市)

～水害リスクに備えた災害対応施設の移転～

【実施中の取組内容】

- ・災害対応施設の移転について、浸水被害リスクの少ない箇所への移転を計画
- ・消防署の浸水区域内から浸水区域外への移設建設工事の実施(訓子府町)



消防庁舎の工事実施状況

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

～要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進と
避難の実効性の確保～ダンボールベッド
作成状況ダンボールトイレ
作成状況

防災ガイドファイル

【実施中の取組内容】

- ・町内小学校児童を対象に、避難所設営や、ダンボールベッド・ダンボールトイレの作成方法等を学ぶ「一日防災学校」を開催(訓子府町)
- ・避難基準や計画規模・想定最大規模の浸水想定域、土砂災害警戒区域等を示した防災マップを追加除可能な「防災ガイドファイル」としてリニューアルし、町内全世帯に配布(置戸町) 等